

大学名： 福山市立大学

ASPUnivNet の 4つの機能	評価項目	事例記述
学校のユネスコスクール加盟を支援します。	1. ユネスコスクール加盟を希望する地域の学校から相談があったときにそれに応じることができた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福山市・尾道市の小学校6校、中学校4校に対し活動支援、活動報告書作成支援。以下具体的取り組み。</li> <li>①福山市立幸千中学校ユネスコスクール研修会「SDGs の視点で総合的な学習の時間を再考するワークショップ」ファシリテーター、対象：教員 40 名、2 月 25 日</li> <li>②尾道市立瀬戸田中学校「誰一人として取り残さないまちづくりに向けて：SDGs11, 14, 15 などの実践事例報告会「この島のよさって何だろう」(オンライン) 助言者、対象：生徒 161 名・教員 20 名、3 月 3 日</li> </ul>
	2. ユネスコスクール・チャレンジ期間実施校に対する相談に応じることができた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福山市の小学校8校に対し活動支援を行った。</li> </ul>
	3. 地域の加盟済のユネスコスクールに向けて ESD/SDGs をリードする学校としての「質の向上」にかかわる支援を行うことができた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・尾道市立重井中学校「3 年生総合的な学習の時間特設授業・SDGs 持続可能な重井のために」(オンライン)(再掲)において、SDGs を地域化する助言を行った。</li> </ul>
大学の持つ知的財産をユネスコスクールの活動に提供します。	1. 大学の資源を活用して、地域のユネスコスクールに向けた支援(資料提供やコーディネート、出前授業やワークショップなど)を行うことができた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・尾道市立重井中学校「3 年生総合的な学習の時間特設授業・SDGs 持続可能な重井のために」(オンライン)(再掲)において、大学の研究成果や取組みを紹介しながら助言を行った。</li> </ul>
	2. 研修会やワークショップを地域のユネスコスクールと協働して開催することができた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・尾道市立重井中学校「3 年生総合的な学習の時間特設授業・SDGs 持続可能な重井のために」(オンライン)(再掲)</li> </ul>
	3. 大学の資源を活用して、地域のユネスコスクールと協働で教材やモデルプロジェクトを開発することができた。	
地域の教育機関とユネスコスクールとの連携を促進します。	1. 地域のステークホルダーにユネスコスクールの存在や意義について広く知らせることができた。	本学主催のワークショップなどで周知を行い、また、地域の企業、自治会、学校などに知らせた。

	2. ユネスコスクールと地域の多様なステークホルダーとを結びつけることができた。	・ユネスコスクールに自治会、企業などとの連携を提案した。
	3. ユネスコスクールに関連した地域教育委員会との連携や地域における大学間の連携を促進することができた。	
国内外のユネスコスクールとのネットワークづくりを支援します。	1. 地域をこえた国内外の多様なステークホルダーにユネスコスクールの存在や意義について知らせることができた	・学会でユネスコスクールの意義、課題などについて発表し、広く周知した。
	2. 地域をこえた国内外のユネスコスクールと協働で活動することができた。	
	3. ユネスコスクールがグローバルな活動することについてそれを支援することができた。(例：ユネスコスクールの国境を越えた交流、海外とのオンライン交流、海外のプロジェクトへの参加など)	
その他の活動	1. 大学内でユネスコスクールの存在や意義について広く知らせることができた。	諸会議で周知した。
	2. 学部大学院の教育課程でユネスコスクールにかかわる教育を行うことができた。	・担当授業でユネスコスクールの紹介を行った。
	3. 調査研究活動でユネスコスクールに関連した調査研究を行うことができた。	次年度開始予定の共同研究（教職員の動機付け）の準備を行った。
	4. 自由記述	